

## 新型コロナ禍でガス販売量の“変動”続く LPガスは、家庭業務用低調、自動車用深刻

新型コロナ禍による外出の抑制と、それともなう“おうち消費”で、ガス販売量に大きな変動が起きています。第2波に見舞われる中、国主導で7月下旬から始まった「Go To トラベル」などの消費喚起策や、店舗営業時間、イベントなどの規制緩和策などが、ガス消費に今後どう反映されてくるか、成り行きが注目されます。

- LPガス 家庭業務用販売量（日本LPガス協会「需給月報」）  
1-3月は前年同期比95.9%、4-6月は95.7%と低迷し、その後も7月90.7%、8月94.3%と低水準で推移中。家庭用と業務用を合算した統計値であるため各用途別はわからないが、家庭用の比率が高い事業者や都市周縁にお客様が多い事業者では“おうち消費効果”も。
- LPガス 自動車用販売量（同）  
外出抑制でタクシーの稼働が減ったことを受け、5月には半減（前年度同月比47.0%）するなど深刻で、その後も6月64.0%、7月73.0%、8月68.1%と厳しい状況が続いている。
- 都市ガス 家庭用・商業用販売量（資源エネルギー庁「ガス事業生産動態統計」）

家庭用販売量は3月以降増加に転じ、前年同月を上回る推移となっている。ただ、商業用販売量は4月以降目立って減少し始め、5月には55.6%にまで減少。その後は回復しつつある。

月	LPガス(前年同月比)		都市ガス(同)	
	家庭業務用	自動車用	家庭用	商業用
1	94.3%	89.6%	95.0%	94.9%
2	93.9%	88.1%	95.7%	95.4%
3	99.9%	80.8%	101.4%	93.7%
4	95.7%	58.1%	107.9%	82.6%
5	91.3%	47.0%	104.9%	55.6%
6	101.1%	64.0%	107.8%	80.5%
7	90.7%	73.0%	101.4%	88.0%
8	94.3%	68.1%		

LPガス：日本LPガス協会、都市ガス：資源エネルギー庁まとめ。

## 学校空調、小・中学校等93%、体育館9.0%に

文部科学省は9月30日、2020年9月1日時点の「公立学校施設における空調（冷房）設備の設置状況」を公表しました。それによれば、「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」（2018年度補正予算）の対象となった公立の小・中学校、特別支援学校、幼稚園などにおける普通教室（保有室数426,414室）のうち、空調（冷房）設備の設置率は93.0%（396,567室）となり、前年より14.6ポイント増えました。また、特別教室等（401,406室）は57.5%（230,890室）となり、7.0ポイント増えました。

体育館等（36,004室）は5.8ポイント増の9.0%（3,237室）、ほか高等学校の普通教室（64,792室）は87.0%（56,355室）、特別教室等（119,986室）は46.8%（56,180室）となりました。

## 2021年度概算要求、災害対策、構造改善大幅増額

経済産業省（石油流通課、産業保安グループ）は10月1日、LPガス関係の2021年度概算要求について公表しました。要求額は流通関係が347.8億円（前年度352.9億円）、保安関係が5.6億円（5.6億円）

で、計353.4億円（358.5億円）。流通関係の減少は国家備蓄基地の借入金支払いの低減によるもので、災害等緊急時におけるLPガス供給拠点等の維持強化が前年度より18.6億円の増額となっているほか、構造改善推進事業が集中監視システムの整備に向け3.5億円増額されています。

- 流通関係：347.8億円（前年度352.9億円）
- 災害等緊急時におけるLPガスの供給拠点等の維持強化：38.9億円（20.3億円）  
→災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金（LPガスタンク分）
- 取引適正化、流通合理化の推進：11億円（7.5億円）
- ◇LPガス地域防災対応体制支援事業1.6億円（1.6億円）
- ◇販売事業者指導支援事業0.8億円（0.8億円）
- ◇構造改善推進事業8.6億円（5.1億円）
- LPガス備蓄体制の強化：297.93億円（325.13億円）
- 保安関係：5.6億円（5.6億円）
- 石油精製業等に係る保安対策に関する調査検討
- 石油ガス等供給事業に係る保安対策に関する調査検討

## 経産省、食品工場・業務用のCO事故防止を喚起

経済産業省（高圧ガス保安室・ガス安全室）は9月17日、都市ガス・LPガス消費設備の使用者と管理者に向け、「食品工場及び業務用厨房施設における一酸化炭素中毒事故の防止」について文書で注意喚起を行いました。この中で経産省は、換気の徹底、点検の励行、日常の手入れ、万一の不完全燃焼に備えた業務用換気警報器の設置を呼びかけています。

## 首都圏で点検強盗相次ぐ、組織的犯行との見方も

関東地方では8月下旬以降、東京都、神奈川県、千葉県、茨城県などでガスや電気の点検調査を装った複数犯による強盗事件が相次いでおり、業界では悪質な切替勧誘防止の狙いも込めて、チラシやホームページなどで消費者に注意するよう呼びかけています。同様の事件は関西でも発生しています。

手口や発生状況から組織的な犯行（裏バイト）とも見られており、9月18日に千葉県松戸市で起きた強盗事件（8月20日）で指示役と実行犯の2人、同29日には神奈川県川崎市で起きた強盗事件（8月27日）で実行犯1人、10月14日には東京都町田市で起きた強盗致傷事件（9月5日）などで大学生ら2人が逮捕されています。

（一社）全国LPガス協会は10月1日、一般消費者等に向け、「ガス点検を装った強盗・強盗未遂事件」について注意を喚起しました。

## 11月プロパン、CP430.00ドル、MB269.66ドル

11月積み込みCP（サウジアラビア輸入FOB価格）は、プロパン（P）はトンあたり430.00ドル、ブタン（B）は440.00ドルにすると輸入元売各社に通知がありました。前月に比べPは+14.67%、+55.00ドル、Bは+15.79%、+60.00ドルの上昇。また、米・モンテベルビュー（MB）の11月適用プロパン価格（OPIS社発表）は269.66ドルで、前月に比べ+5.05%、+12.96ドル上昇しました。

配信ご希望の特約店様はメールアドレスを下記URLよりご登録ください。

※すでにご登録いただいている特約店様は不要です。

※ご不明な点は、オブリ担当セールスにご連絡ください。

【登録フォーム】<https://obbli.info/obbli/>

※パソコン、スマートフォンからご登録ください。



Obbli